

倫理，政治・経済

(解答番号 1 ～ 39)

第1問 以下は、大学生A，B，Cがかわした対話の一部である。この文章を読み、下の問い(問1～5)に答えよ。(配点 14)

A：情報技術の発達^{かか}は、人と人との関わり方を大きく変えているね。インターネットを使えば、誰^{だれ}とでも、遠くの見知らぬ人とでも、やり取りできるもの。

B：ネットにアクセスできない人もいるから、「誰とでも」は言い過ぎでしょ。

C：弊害も大きいよ。例えば、成長過程の子どもがネット上のバーチャルな世界に没頭してしまい、一緒に暮らす家族ともろくに話さなくなる、とか。

B：㉑家族のあり方の変化は、インターネットのせいだけじゃないと思うけど。

A：悪影響もあるけど、成長って㉒社会のなかで人と関わりながら自己を形成することだよな。ネット上でいろんな人と対話するのはプラス面も大きいよ。

C：対話って直接向かい合っ^てするもので、互いの顔が見えるから㉓話し相手に配慮することもできる。顔の見えないネット上のやり取りを対話と言える？

A：ネット上では対話の相手が誰だか分からないことも多いけど、だからこそ年齢や性別や肩書きなどを気にせず、自由に意見をやり取りできるんだよ。

C：でも、匿名だ^{うそ}と嘘や無責任な発言も簡単になるよね。自分の言葉に責任をもって誠実に他人と関わるには、㉔自分の姿を見せることが大切だと思うな。

B：相手と面と向かっていても、嘘はつけるよ。問題は、直^{じか}に話すかネット上でやり取りするか、ではないと思うな。どちらの場合も、相手に誠実に向き合っ^てて、自分の思いや考えをきちんと言葉で伝えることが肝心なわけだから。

A：なるほど。ただ、誠意をもって話せば言いたいことが伝わる、とは限らないよね。相手に誠実であるだけでなく、正しく言葉を使う必要があると思うな。

C：正しく言葉を使う、か。なら、まず㉕言葉を使うとはどういうことかを考えないと。それを考えるにも、言葉を使わないといけないんだけどね。

B：すると、言葉を「使う」という言い方にも議論の余地があるね。ネットみたいな道具なら使うかどうか選べるけど、言葉は人間から切り離せないもの。

A：考えるときも話すときも、そこにはいつも言葉がある。よし、もっと話そう！

問 1 下線部④に関して，現在の日本社会において家族を取り巻く状況についての記述として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

1

- ① 婚姻率の低下により未婚者が増え，成人後も両親との同居を続ける人が多くなっており，一人で住んでいる人の割合は低下している。
- ② 育児・介護休業法が制定されたため，労働者は男女を問わず，法的には育児や介護のための休業を取得できるようになった。
- ③ 結婚後も旧姓を名乗ることを望む女性が増えたため，夫婦同姓か別姓かを選ぶことのできる選択制が導入された。
- ④ 介護保険制度など，高齢者の介護を社会全体で担う体制が整備されてきたため，高齢者の単独世帯数は減少している。

倫理、政治・経済

問 2 下線部⑥に関連して、次のア～エは、自我・自己・個性の形成と社会や他者との関わりについての考え方を説明したものである。その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。 2

ア マズローは、自己実現に至る欲求の五つの階層のなかで、身体の安全を求める欲求より上位に、他者に認められたい欲求をおいた。

イ フィヒテは、自己を伝統的な価値や社会の通念への従属から解放して、自由な価値創造の主体として肯定する意志を、力への意志と名づけた。

ウ マーガレット・ミードは、サモア島などでの調査から、歴史的・地域的な状況が個性の形成に大きく影響すると思った。

エ ユングは、個人の社会的経験を通じて後天的に身についた集合的無意識と自我の関連を、神話や伝説の分析を通して指摘した。

- | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|
| ① | ア 正 | イ 正 | ウ 誤 | エ 正 |
| ② | ア 正 | イ 正 | ウ 誤 | エ 誤 |
| ③ | ア 正 | イ 誤 | ウ 正 | エ 正 |
| ④ | ア 正 | イ 誤 | ウ 正 | エ 誤 |
| ⑤ | ア 誤 | イ 正 | ウ 誤 | エ 正 |
| ⑥ | ア 誤 | イ 正 | ウ 誤 | エ 誤 |
| ⑦ | ア 誤 | イ 誤 | ウ 正 | エ 正 |
| ⑧ | ア 誤 | イ 誤 | ウ 正 | エ 誤 |

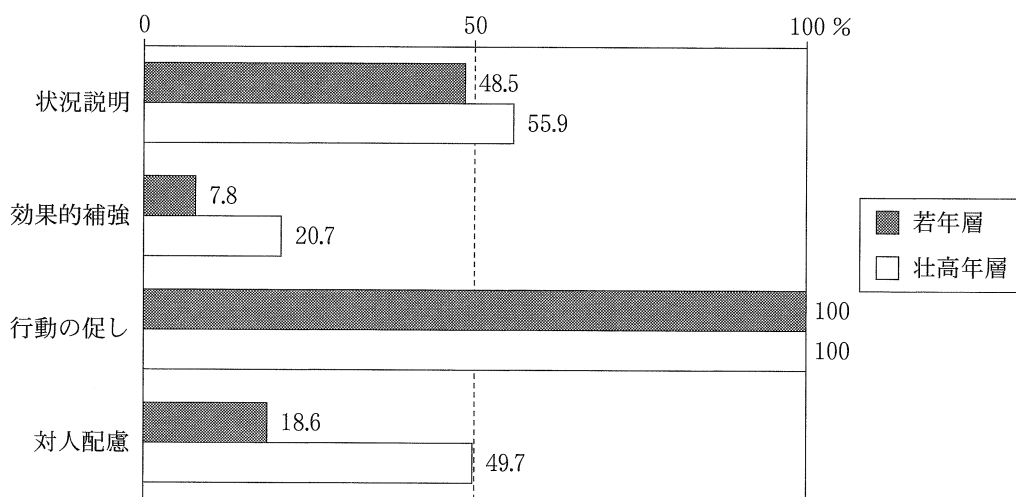
(下書き用紙)

倫理，政治・経済の試験問題は次に続く。

倫理、政治・経済

問 3 下線部㉔に関連して、次の図は、行きつけの店で買い物をした後、かさばる荷物を預けるとしたら、どのように依頼するかを若年層(高校生)と壮高年層(30 歳以上)、それぞれ約 200 名にアンケート調査した結果を示している。二つの年齢層の違いをみるために、一人ひとりの回答内容に含まれる 4 種類の意図(状況説明、効果的補強、行動の促し、対人配慮)の有無を調査者が推測して、それらの意図が読み取れる回答をした人数の割合(%)を年齢層ごとに集計した。なお、一人の回答のなかに複数の意図が含まれることもある(例えば、「荷物がかさばるので預かってもらえますか」という回答には、状況説明と行動の促しの意図があると推測される)。図から読み取れることとして**適当でない**ものを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。 3

図 回答から読み取れる意図



状況説明：「荷物がかさばるので」など、依頼の必要性の説明

効果的補強：「後で取りに来ます」など、相手の承諾を引き出す説得

行動の促し：「預かっていただけますか」など、依頼の意思表示

対人配慮：「お邪魔でしょうが」など、相手の負担に対する恐縮や遠慮の表明

国立国語研究所『言語行動における「配慮」の諸相』(2006 年)より作成。

- ① 恐縮や遠慮の意図が含まれる回答をした者の割合は，若年層と比較して壮高年層で高く，二つの年齢層の間に差がみられる。
- ② 複数の意図が含まれる回答をした者の割合は，若年層・壮高年層ともに半数以下であり，二つの年齢層の間に差はみられない。
- ③ 相手の承諾を引き出す説得の意図が含まれる回答をした者の割合は，壮高年層と比較して若年層で低く，二つの年齢層の間に差がみられる。
- ④ 若年層の回答に含まれる意図を割合の高い順に並べると，その順序は壮高年層の場合と同じであり，二つの年齢層の間に差はみられない。

倫理、政治・経済

- 問 4 下線部①を、政治思想家アーレントは、人々の間で行われる「活動」の特徴の一つと考えた。彼女によれば、活動は、物と人との間で成立する「労働」「仕事」とは異なり、人と人との直接関わり合う行為であり、ゆえに政治を始めとする公的な営みもまた活動であるべきなのである。アーレントが活動の特徴を述べた次の文章を読み、活動の具体例として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

4

話したり何かをしたりすることを通じて、私たちは人間世界に自ら参入するのである。……この参入は、労働のように必要に強いられたものではなく、仕事のように有用性に促されたものでもない。それは、私たちがその仲間に加わりたいと願う他者の存在に刺激されたものである。……語り合うことによって、人は自分が誰であることを示し、自分がユニークな人格をもつ存在であることを積極的に明らかにし、そのようにして人間世界に自分の姿を現すのである。

(『人間の条件』より)

- ① 文化祭で劇を上演することになり、Qさんは衣装係を割り当てられたので、演者の個性が引き立つような、ユニークな衣装を作った。
- ② Rさんは、飢餓に苦しむ人々を支援する運動に同級生が参加していることを知り、自分もアルバイトをして貯めたお金を寄付した。
- ③ 高校で生徒会選挙があり、仲のよい同級生が生徒会長の候補者となったので、Sさんはその同級生に投票することにした。
- ④ Tさんは、休み時間に教室で、同級生がその場にいない人を中傷しているのを目にして、憤りを感じたので、彼らに抗議した。

問 5 下線部㊦に関連して、次の文章は、言語をめぐるウィットゲンシュタインの思想を説明したものである。㊦ a ～ ㊦ c に入れる語句の組合せとして正しいものを、下の①～⑨のうちから一つ選べ。 ㊦ 5

ウィットゲンシュタインは最初、「語り得ぬものについては、沈黙せねばならない」という立場を取っていた。それによれば、㊦ a においては命題が真か偽かを確定し得るが、神や道德などの問題に関する哲学や宗教の言語は、現実の事象との対応関係をもっておらず、語り得ぬものを語ろうとすることになってしまう。そして、これまでの哲学的問題の多くは、語り得ぬものを語ろうとしたために生じてきた、というのである。しかし、後に彼は、㊦ b における言語の使用や規則の習得について省察を深めていき、新たに㊦ c という概念を導入して、言語の問題を捉え直していった。こうした後期のウィットゲンシュタインの思想に従えば、㊦ a における言語の使用もまた、㊦ b に根差した多様な㊦ c の一つである、ということになる。

- | | | | |
|---|--------|--------|---------|
| ① | a 日常生活 | b 自然科学 | c パラダイム |
| ② | a 日常生活 | b 形而上学 | c パラダイム |
| ③ | a 日常生活 | b 形而上学 | c 言語ゲーム |
| ④ | a 自然科学 | b 日常生活 | c パラダイム |
| ⑤ | a 自然科学 | b 日常生活 | c 言語ゲーム |
| ⑥ | a 自然科学 | b 形而上学 | c 言語ゲーム |
| ⑦ | a 形而上学 | b 自然科学 | c パラダイム |
| ⑧ | a 形而上学 | b 自然科学 | c 言語ゲーム |
| ⑨ | a 形而上学 | b 日常生活 | c パラダイム |

第2問 次の文章を読み、下の問い(問1～7)に答えよ。(配点 18)

私たちは日常を送るうえで様々な問題に直面し、その意味や原因を考える。だが、単なる思いつきでは表面的な理解にとどまりがちだ。問題の核心に迫り、思考を深めるためには、筋道に沿って考えることが大切である。このような思考の筋道は、日本において「理」と呼ばれてきた。ここでは、この「理」の変遷をみていこう。

古代において、人の力が及ばない不可思議なものは㉔「カミ」と考えられた。人々は、良い事も悪い事も神の「御所為^{みしわざ}」として受容し、それ以上の理由を問うことはなかったのである。その後、「因果の理」を説く㉕仏教が伝来し、この「理」に基づいて世の有り様を受け止めようとする人々が現れる。平安から鎌倉時代を生きた僧慈円は、世の乱れをどう理解するべきか悩み、『愚管抄』を書いた。この書で㉖末法思想の流行に抗して、社会が変化した原因を問うた彼は、あるべき世を求めて、物事を貫く「道理」を追求した。彼の試みは、この世を生きる人の視点から歴史を統一的に捉^{とら}えることで、社会の有り様を受容し、未来を見通そうとするものであった。

戦国の世を経て、江戸時代に入ると、安定した社会のあり方を求めて、宇宙万物の基礎を問う㉗朱子学が盛んになる。林羅山は、世界を貫く一つの秩序を求める「窮理」の立場にたって、自然から道德、社会までを「理」によって把握できると考えた。こうした朱子学的な「理」の導入をきっかけに、事象についての思索が深まるなかで、㉘物事を冷静に観察する態度が育^{はぐ}まれた。それは、有用な技術としての西洋科学に対する関心を生むことにもつながったのである。

近代に入ると、西洋の思想を学び、朱子学的「理」に基づく世界観を批判する啓蒙思想家が現れる。彼らは、世界を把握するための新しい「理」のかたちを求め、それには、世界を認識する主体のあり方を問わねばならないと考えた。こうした「理」に対する新たな取組によって生まれた主体の探究は、「そもそも自己とは何か」という問いを生み出した。これに対し、㉙西田幾多郎は、自己と世界を切り離す西洋近代的な論理を批判し、純粹経験がすべての根源であり、見る主観、見られる客観という形式もここから生まれると論じた。彼の思索は、西洋的論理の再考にとどまらず、世界と自己のあり方を問い直すものであった。

このように日本において「理」は、A。

問 1 下線部③に関して、『古事記』に描かれる神と世界の関係についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 6

- ① 世界は，唯一絶対の神が混沌^{こんとん}から作り出したものであり，この神が世界に存在するすべてのもののあり方を定めている。
- ② 世界には多数の神々が存在し，その背後には唯一絶対の神が控えている。この神を祀^{まつ}ることで，世界は安定を保っている。
- ③ 世界の中心には高天原があり，そこに暮らす神々が世界に存在するすべてのもののあり方を定めている。
- ④ 世界は，唯一絶対の神を根拠とするのではなく，おのずから成った世界であり，そこに多数の神々が存在している。

問 2 下線部⑥に関連して，ブッダの教えの説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 7

- ① 煩悩に苦しむ他者を救済することができて，はじめて自らが煩悩から解放されることになる。そのため，他者への慈悲心に基づいて，布施，持戒，忍辱，精進，利他，智慧の六波羅蜜を実践すべきである。
- ② 煩悩に苦しむ衆生の有り様は，大河に流され必死に漂流物にしがみついている姿に譬^{たと}えられる。この漂流物とは，絶えず変転する物質世界のなかで永続する自己を意味しており，その理解によって人は煩悩から解放される。
- ③ 道諦は苦の滅却に至る道筋についての真理であり，具体的には八正道として示されている。この解脱に至る修行過程は，出家した修行者でさえ耐え難いほどの苦行であるので，煩悩から解放される者は極めて少数である。
- ④ もろもろの煩悩は苦しみや悲しみを引き起こすが，その根本原因は，無常や無我に関する無知にある。それゆえ，この世を貫く理法を正しく悟ることによって，煩悩から解放されることになる。

倫理、政治・経済

問 3 下線部㉔に関して、末法についての記述として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 8

- ① 修行者と仏の教えだけがあって、悟る人が現れない時代が一万年続く。
- ② 修行者も悟る人もなく、仏の教えのみが伝わる時代が一万年続く。
- ③ 修行者も悟る人もなく、仏の教えも消滅した時代が一万年続く。
- ④ 修行者はいるが、仏の教えが説かれず、悟る人もない時代が一万年続く。

問 4 下線部㉑に関連して、孔子と孟子の思想を表す次の文章中の a ・ b に入れる語句の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 9

他人を思いやることを孔子は a と呼び、生涯、これを実践していかなければならないと説いた。また、孟子は他者の苦しみや悲しみを見過ごすことのできない心を b の心と呼び、これを養い育てることによって仁徳は完成されると説いた。

- ① a 恕 b 惻 隠
- ② a 義 b 惻 隠
- ③ a 恕 b 辞 讓
- ④ a 義 b 辞 讓

問 5 下線部㊸に関連して，次のア～ウは，自然や世界について実証的考察を行った思想家についての説明であるが，それぞれ誰のことか。その組合せとして正しいものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。 10

ア 動植物への関心から博物学的な知のあり方を追究する一方で，日用の道徳を分かりやすく説くなど，朱子学を日常に活かす試みを行った。

イ 懷徳堂に学び，地動説に基づく独自の宇宙論を展開し，合理主義的観点から，靈魂の存在を認めない無鬼論を展開した。

ウ 懐疑的態度から世界のあり方を問い，気や理などの朱子学の用語を用いて自然の法則を探究し，条理学を構築した。

- | | | | | | | |
|---|---|------|---|------|---|------|
| ① | ア | 貝原益軒 | イ | 三浦梅園 | ウ | 山片蟠桃 |
| ② | ア | 貝原益軒 | イ | 山片蟠桃 | ウ | 三浦梅園 |
| ③ | ア | 三浦梅園 | イ | 貝原益軒 | ウ | 山片蟠桃 |
| ④ | ア | 三浦梅園 | イ | 山片蟠桃 | ウ | 貝原益軒 |
| ⑤ | ア | 山片蟠桃 | イ | 貝原益軒 | ウ | 三浦梅園 |
| ⑥ | ア | 山片蟠桃 | イ | 三浦梅園 | ウ | 貝原益軒 |

倫理，政治・経済

問 6 下線部㊦に関して，次の文章は、『善の研究』から始まる西田幾多郎の哲学的思索の展開について述べたものである。 a ～ c に入れる語句の組合せとして正しいものを，下の①～⑧のうちから一つ選べ。 11

純粹経験とは， a の状態で成立するものであるが，純粹経験からすべてを説明するためには， a だけではなく，主観と客観の分化を論理的に基礎づける必要がある。そのために彼は，主客の根底を問うて，主観と客観を成立させると同時にそれを包む「 b 」の論理を求めた。西田によれば，「 b 」の論理は，有と無の対立を超えて，事物事象そのものを可能にする「 c 」に基づくものであった。

- | | | | | | | |
|---|---|------|---|-----|---|------|
| ① | a | 主客未分 | b | 空 | c | 絶対無 |
| ② | a | 主客未分 | b | 場 所 | c | 絶対無 |
| ③ | a | 主客未分 | b | 存 在 | c | 絶対他力 |
| ④ | a | 主客未分 | b | 場 所 | c | 無 我 |
| ⑤ | a | 主客対立 | b | 存 在 | c | 絶対他力 |
| ⑥ | a | 主客対立 | b | 空 | c | 絶対他力 |
| ⑦ | a | 主客対立 | b | 場 所 | c | 絶対無 |
| ⑧ | a | 主客対立 | b | 空 | c | 無 我 |

問 7 本文の趣旨を踏まえて、A に入れる記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。12

- ① 常に新しい問題や困難な課題に直面するなかで問い直されるものであったため、時代とともにそのかたちは変わっていった。それゆえ、「理」を求める知的態度には限界があることを理解し、物事に対して懐疑的立場を保持することが必要である
- ② 自国の文化の固有性を否定し、外来の文化を進んで取り入れることで成立するものであった。自国に対して批判的立場を保持し、外来の文化に柔軟に対応することは、多様化した社会を生きるための新たな視点を獲得する契機となるものである
- ③ 課題に直面するなかで、従来の考え方に^{とら}囚われず、世界のあり方を問い直し、思考を深める過程で見いだされるものであった。従来の考え方に頼るだけでなく、自らの立場を反省することは、新たな思考のかたちを生み出す契機となり、事態の核心に迫ることを可能にするものである
- ④ 世界の絶え間ない変化のなかで変わっていくものであり、世界の移ろいと「理」とを一体的に理解することが重要であった。先の見えない現代を生きていくうえで大切なのは、出来事があるがままに受容する柔軟な「理」に基づき、自然に従い生きていく態度である

第3問 次の文章を読み、下の問い(問1～7)に答えよ。(配点 18)

批判することは、単に非難するだけの否定的なものだとみなされることがあるが、それに尽きるものだろうか。西洋の近代以降における①批判の営みをたどりながら、批判の意味について考えてみたい。

批判においては、自明とされてきた権威や価値を鵜呑みにしないことが肝心である。例えば、ルターは、教会の説く信仰が形骸化^{けいがいか}していると感じ、魂の救済のためには、贖宥状(免罪符)の取得ではなく、②聖書に基づく信仰こそが重要だと説いた。また、ベーコンは、従来のスコラ哲学が空虚な議論に陥りがちだと考え、③先入見を排し、観察と実験を通じて自然を認識することが必要だと唱えた。

さらに、批判の目は政治や社会のあり方にも向けられる。特に、18世紀になると、フランスの啓蒙主義者たちが、不平等な④旧体制(アンシャン・レژیム)に抗議し、理性に基づいて、万人の自由と権利を保障すべきだと訴えた。このように、あらゆる権威の正当性を問いたす「批判の時代」の風潮のなかで、カントは、⑤理性によって理性自身の能力を吟味する批判哲学を展開した。彼は、理性の自己批判を通じて、理性が有効に機能し得る範囲を見定めることで、他の権威に服従せず、自らの理性にのみ従う自律的な人々からなる道徳的世界の可能性を切り拓^{ひら}いた。

こうした様々な権威への批判は、自由で平等な社会を目指す推進力になっていく。しかし、19世紀以降の社会の現実には、その理想を裏切る結果も伴っていた。例えば、世論が少数派の意見を抑圧する事態が生じ、それに対して、ミルは、言論の自由と個性の発展を尊重すべきだと唱えた。また、産業化で生産力が増大したのに多数の者が困窮している状況に対して、マルクスは、社会の構造を変革し、真に平等な社会を実現すべきだと訴えた。20世紀には、⑥大衆社会が到来し、科学技術が発達するなかで、新たな問題が生じてきた。そこで、フランクフルト学派は、ファシズムにつながる大衆心理を分析し、科学技術が核兵器のような新たな野蛮を生み出す状況を批判し、文明社会の危機を打開する道を模索した。

このように、様々な思想家たちは、社会や自己について問い直すことで、現状とは違ったあり方の可能性を提示してきた。その意味で、批判は、社会の現実や自己のあり方から目をそらすことなく理想を追求していく営みだと言えよう。

問 1 下線部㉔に関連して、時代を問わず様々な仕方で行われた批判の営みやその影響の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

13

- ① パルメニデスは、運動や消滅から事象を説明する自然哲学者の考え方を批判し、「有るもの」は「無限なるもの」から生まれると主張した。
- ② ソフィストの相対主義は、ソクラテスやプラトンによって批判されたが、他方で、人間や社会に関する伝統的な価値観を問い直す役割を果たした。
- ③ イエスは、救世主(メシア)が既に到来したと主張するユダヤ教指導者たちを批判したため、反感を買い、ローマ帝国に告発されて処刑された。
- ④ 古代の懐疑論から影響を受けたモンテーニュは、「私は何を知っているのか」を標語として批判精神を説き、確実な真理は「私はある」のみと論じた。

問 2 下線部㉕に関連して、いくつかの宗教では、様々な聖典が編集されてきた。その説明として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

14

- ① イスラーム教では、聖典を基にしてトーラーと呼ばれる生活規則がまとめられ、日常生活のなかでそれが実践されてきた。
- ② キリスト教では、イエスが自らの言行を編集した『新約聖書』に新たな文章を加えることが禁じられ、聖典を正しく保持すべきとされた。
- ③ ユダヤ教では、律法を守らない社会の墮落を批判し、神への信仰を保つことを説いた預言者たちの言葉も、聖典のなかに収められた。
- ④ バラモン教では、様々な知識が聖典としてまとめられ、なかでも最古のものが、神々への讃歌^{さんか}などを集めた『スッタニパータ』である。

倫理、政治・経済

- 問 3 下線部㉔に関して、次のア～エはベーコンが「イドラ」と呼んで批判した様々な先入見についての記述である。その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。

15

- ア 種族のイドラは、人間相互の交わりや社会生活から生じる。
イ 劇場のイドラは、伝統や権威を鵜呑みにすることから生じる。
ウ 洞窟のイドラは、人間に共通する自然的な制約から生じる。
エ 市場のイドラは、各人が各様にもっている経験や知識から生じる。

- | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | ア | 正 | イ | 正 | ウ | 誤 | エ | 正 |
| ② | ア | 正 | イ | 正 | ウ | 誤 | エ | 誤 |
| ③ | ア | 正 | イ | 誤 | ウ | 正 | エ | 正 |
| ④ | ア | 正 | イ | 誤 | ウ | 正 | エ | 誤 |
| ⑤ | ア | 誤 | イ | 正 | ウ | 誤 | エ | 正 |
| ⑥ | ア | 誤 | イ | 正 | ウ | 誤 | エ | 誤 |
| ⑦ | ア | 誤 | イ | 誤 | ウ | 正 | エ | 正 |
| ⑧ | ア | 誤 | イ | 誤 | ウ | 正 | エ | 誤 |

問 4 下線部㉔に関連して、当時のフランス社会を批判した思想家についての記述として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 16

- ① デイドロは、様々な国家制度を比較し、立法権・執行権・裁判権が互いに抑制し均衡をはかるシステムの重要性を認識し、それを欠いたフランスの専制政治を批判した。
- ② モンテスキューは、フランス政府からの度重なる発禁処分にもかかわらず、様々な学問や技術を集大成した著作を出版するとともに、人民主権の立場から、封建制を批判した。
- ③ ヴォルテールは、書簡形式の著作において、イギリスの進歩的な政治制度や思想をフランスに紹介することを通じて、フランスの現状が遅れていることを批判した。
- ④ パスカルは、人間が生まれながらにもつ自然な感情である^{あわ}憐れみの情が、文明の発展とともに失われていくと分析し、不平等と虚栄に満ちたフランス社会を批判した。

問 5 下線部㉕に関して、カントの批判哲学についての記述として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 17

- ① 合理論と経験論の一面性を乗り越えるべく、両者の立場を総合して、人間が物自体を理性によって認識できると論じた。
- ② ヒュームの著作に影響を受け、自然科学の客観性を疑問視して、その基礎にある因果関係が主観的な信念であると論じた。
- ③ ロックの著作に影響を受け、人間の靈魂や神など、人間が経験できる範囲を超えた対象については、その存在を否定できると論じた。
- ④ 認識が成立する条件を考察し、人間の認識は、認識の素材を受け取る能力と、その素材を整理し秩序づける能力の両者から生じると論じた。

倫理, 政治・経済

- 問 6 下線部㊦に関連して、次の文章は、大衆社会と科学技術を批判したハイデッガーの思想について説明したものである。 a ～ c に入れる語句の組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 18

ハイデッガーは、人々がうわさ話に夢中になり、新奇なものを求め、なんとなく曖昧あいまいに生きている日常的なあり方を a と呼んだ。こうしたあり方から本来の自己へと至るには、 b のただなかで、自己の死の可能性を直視することが必要だとした。後に彼は、科学技術のあり方を考察し、そこでは人間も含めてあらゆるものが利用されるべき材料とみなされていることを批判した。彼はこうした状態を c の喪失と呼び、そこから脱却する道を模索した。

- | | | | | | | |
|---|---|--------|---|-----|---|-----|
| ① | a | ルサンチマン | b | 絶 望 | c | 故 郷 |
| ② | a | ダス・マン | b | 不 安 | c | 人 倫 |
| ③ | a | ルサンチマン | b | 不 安 | c | 故 郷 |
| ④ | a | ダス・マン | b | 絶 望 | c | 人 倫 |
| ⑤ | a | ルサンチマン | b | 絶 望 | c | 人 倫 |
| ⑥ | a | ダス・マン | b | 不 安 | c | 故 郷 |

問 7 本文の趣旨に合致する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

19

- ① 批判とは、従来の権威や価値を問い直し、そこに含まれる問題を克服して
いこうとする営みである。固定化した現実や囚^{とら}われた物の見方から解放さ
れ、社会や自己の有り様に真摯^{しんし}に向き合うことによって、現状とは違ったあ
り方を構想することができる。
- ② 批判とは、従来の権威や価値から学び、それを創造的に活用していこうと
する営みである。従来の様々な見方を知り、自分の視野を広げることで問題
を新たな角度から捉^{とら}えることによって、現実をありのままに受け入れること
ができる。
- ③ 批判とは、従来の権威や価値に疑問を投げかけ、それを絶えず乗り越えて
いこうとする営みである。批判を徹底して行い、批判の活動それ自体を否定
するところにまで達することによって、何物にも囚^{とら}われない理想的な境地に
たつことができる。
- ④ 批判とは、従来の権威や価値から距離を取り、自己にとっての真実を追究
しようとする営みである。他人の意見や社会の規範の影響を明るみに出し、
自分独自の考え方を発見することによって、時代に流されない主体的な生き
方を送ることができる。

倫理，政治・経済

第4問 次の文章を読み、下の問い(問1～6)に答えよ。(配点 14)

近年、いくつかの発展途上国の経済的な台頭^{たいとう}が著しいが、これらの国々の経済成長は、先進国の経済や資本の動向との複雑な絡み合いの中で進んできた。

発展途上国の多くは、独立達成後、海外からの製品輸入や直接投資を制限して自国産業を育成しようとしたが、それは政府支出の増大と対外債務の累積を招いた。他方で、先進国では、㉠1970年代の石油危機以降、「小さな政府」を志向する㉢行政改革が進むと同時に、インフレ抑制のために金融引締め路線がとられた。その後、国際的な信用収縮が生じたことで、80年代に債務危機に陥る途上国も現れた。また、開発独裁的な㉡政治体制が動揺し、対外的な経済開放を含む自由化改革が進展した国もある。そこに先進国資本が安価な労働力を求めて進出し、産業基盤の整備も進んだことで、輸出主導の経済発展が幕を開けた。

ただ、こうした急速な成長の背後には新たな課題も現れつつある。たとえば、成長の果実が国民全体に行き渡らず、国内での㉣社会保障や貧困対策も不十分な場合がみられる。また、輸出主導の経済発展は、先進国政府の㉤財政や金融に関する政策に左右されやすく、リーマン・ショックのように先進国が不況に見舞われると、輸出先を失うことにもなりやすい。さらに、経済発展が軍備の増強につながれば、近隣諸国との関係の不安定化を招き、㉦国際平和への懸念も生じかねない。

今後は、発展途上国の政治的・経済的な地位の向上を、いかにして人々の福祉や国際関係の安定と両立させうるかが、国際社会の重要な課題であろう。

問 1 下線部㉔に関連して、1970 年代以降に世界で生じた出来事をめぐる記述として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 20

- ① アメリカでは、レーガン政権の下で高金利政策がとられ、財政赤字と資本収支の赤字とが並存する「双子の赤字」現象が生じた。
- ② 中国では、改革・開放政策の下で沿岸部を中心に経済特区が設けられ、外国資本の導入が図られた。
- ③ 経済通貨統合に向けて、EC(欧州共同体)において、EMS(欧州通貨制度)が発足した。
- ④ キングストン合意において、変動相場制が承認されるとともに、金に代わって SDR(特別引出権)の役割を拡大することが取り決められた。

問 2 下線部㉕について、1980 年代以降に日本で行われた行政改革の記述として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 21

- ① 日本国有鉄道、日本電信電話公社、日本専売公社の三公社が民営化された。
- ② 特殊法人の一つであった日本道路公団が民営化された。
- ③ 許認可行政や行政指導などの行政運営について、公正の確保や透明性の向上を図るため、行政手続法が制定された。
- ④ 行政に対する監視の強化を目的として、地方自治体に先駆けて、国にオンブズマン制度が設けられた。

倫理, 政治・経済

問 3 下線部㉔について、各国の政治体制を次の表中のA～Dのように分類した場合、Aに該当する政治体制を採用している国のグループとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

22

	議院内閣制	大統領制
連邦国家	A	B
単一国家	C	D

(注) ここでいう「単一国家」とは、中央政府に統治権が集中する国家を指す。また、「連邦国家」とは、複数の国家(支分国)が結合して成立した国家を指す。「連邦国家」は、国家の一部を構成する支分国が、州などのかたちで広範な統治権をもつ点などにおいて、「単一国家」と異なる。

- ① 日本・イタリア
- ② アメリカ・ブラジル
- ③ カナダ・ドイツ
- ④ 韓国・フィリピン

- 問 4 下線部㉔に関連して，次の表は，2008 年の各国における子ども(ここでは，18 歳以下の者を指す)がいる世帯の貧困率を，一人親世帯，二人親世帯に分けた場合も含めて示している。この表から読みとれることを踏まえつつ，表中の各国における貧困や社会保障をめぐる記述として最も適当なものを，下の①～④のうちから一つ選べ。

23

(単位：%)

国 名	子どもがいる世帯		
		一人親世帯	二人親世帯
スウェーデン	6.0	17.9	3.8
フランス	7.4	22.6	4.9
ドイツ	7.6	26.5	4.5
OECD 平均	11.1	31.1	9.2
イギリス	11.2	28.5	8.3
日 本	12.2	54.3	10.2
アメリカ	18.7	46.9	15.0

(注) ここでの「貧困率」は，OECD が用いる「相対的貧困率」である。相対的貧困率とは，世帯の可処分所得を世帯員数の平方根で割って算出される「等価可処分所得」が，対象となる全世帯の等価可処分所得の中央値の半分に満たない世帯の，対象となる全世帯に占める割合のことである。日本については 2006 年のデータである。OECD 平均は，OECD に加盟している 34 か国(2011 年時点)のうち，アイスランドとポルトガルを除く 32 か国の平均値を指す。

(資料) OECD, *Family Database* (OECD Web ページ)により作成。

- ① いずれの国においても，二人親世帯の貧困率は一人親世帯のそれを上回っている。
- ② 一人親世帯の貧困率と二人親世帯のそれとの差が最も大きくなっている国は，アメリカである。
- ③ 社会保障支出の対 GDP(国内総生産)比が大きい国では，子どもがいる世帯全体の貧困率がより低い傾向にある。
- ④ 子どもがいる世帯全体の貧困率が表中の OECD(経済協力開発機構)平均を上回っているいずれの国でも，合計特殊出生率は 1.50 を超えている。

倫理, 政治・経済

問 5 下線部㉔に関連して、租税や国債をめぐる記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 24

- ① 水平的公平とは、所得の多い人がより多くの税を負担するという考え方のことである。
- ② 国債収入の方が国債費よりも多ければ、基礎的財政収支(プライマリーバランス)は黒字になる。
- ③ 日本では、直接税を中心とする税制を提唱した 1949 年のシャウプ勧告に沿った税制改革が行われた。
- ④ 日本では、1990 年代を通じて特例法に基づく赤字国債の発行が毎年度継続して行われた。

問 6 下線部㉕を維持する仕組みについて、次の A、B のような立場がある。それぞれの立場の具体例として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 25

- A 国家間の力関係を均衡させることで、侵略を相互に抑制する。
- B 武力の不行使を多数国間で約束し、これに違反した国に対しては、その他のすべての国が共同で制裁を加える。

- ① 第一次世界大戦前の欧州では、A の立場に基づき、多くの国が加わる同盟が複数形成された。
- ② 核拡散防止条約(核不拡散条約)では、A の立場に基づき、各締約国が保有できる核戦力の上限を設定する取決めがなされた。
- ③ 国際連合(国連)憲章では B の立場が採用されたため、ある加盟国が憲章に違反して武力を行使すれば、いかなる場合にも国連は制裁措置を発動する。
- ④ 日本の領域に対する武力攻撃が発生した場合、日米安全保障条約に従い、日本とアメリカは B の立場に基づく制裁措置を共同で発動する。

(下書き用紙)

倫理, 政治・経済の試験問題は次に続く。

第5問 次の会話文を読み、下の問い(問1～7)に答えよ。(配点 18)

学生A：2011年頃に北アフリカで、独裁政権の下で抑圧されてきた人たちが自ら立ち上がって民主化を求める運動があったよね。人々自らが政治の主体になることで自由を獲得していくっていう民主主義の意義を実感したな。

学生B：うん。それに比べて、日本のように、㉔選挙で選ばれた代表が政治を行う制度が確立されると、民主主義の意義を実感しにくくなるよね。

学生A：そうかなあ。クーデターによって政権が代わったり、政治運動も命がけの国が世界にはまだあるってことと比べたら、普通の人たちの力で血を流さずに政権交代を実現できるってだけでもすばらしいことだと思うけど。

学生B：でも、私たちって代表を選んで政治に「民主的」というお墨付きを与えているだけで、ルソーの「26」って言葉がまさに当てはまる気がするな。

学生A：選挙以外でも自由に意思表示して政治にかかわることはできるよ。この前、食の安全を考えるシンポジウムに参加したの。政府の㉕情報公開は不十分かもしれないし、子どもの健康や安全を守るにはみんなで議論して政府に訴えかけていくことも大事だと思ったよ。来月には㉖デモもするみたい。

学生B：デモねえ。それで何か変わる？ こんな地方で小さな運動しても……。

学生A：そう？ 自分の行動で少しでも何か変わるかもしれないし、私は㉗政治に参加すると充実感を得られるよ。政治参加それ自体に価値があると思うな。

学生B：それは人それぞれじゃない？ 私は政治のことを考えてる時より推理小説でも読んでいる時の方がずっと幸せ。

学生A：無関心だと、気づいたらそんな自由もなくなるかも。㉘国会で多数派が少数派の㉙人権を侵害する法律を作ることもあるでしょ。

学生B：裁判所が私を守ってくれるはずよ、99対1になっても。そのために違憲立法審査権があるんだから。でも、いっそのこと、みんなのことをしっかり考えてくれる有能なリーダーに全部任せた方が楽かもしれないね。

学生A：その人が間違ったときはどうするのよ。取返しがつかないことにならない？ そのことを考えると、他人に任せず、私たち一人一人が政治にかかわり続けていくことが、やっぱり大事なんじゃないかな。

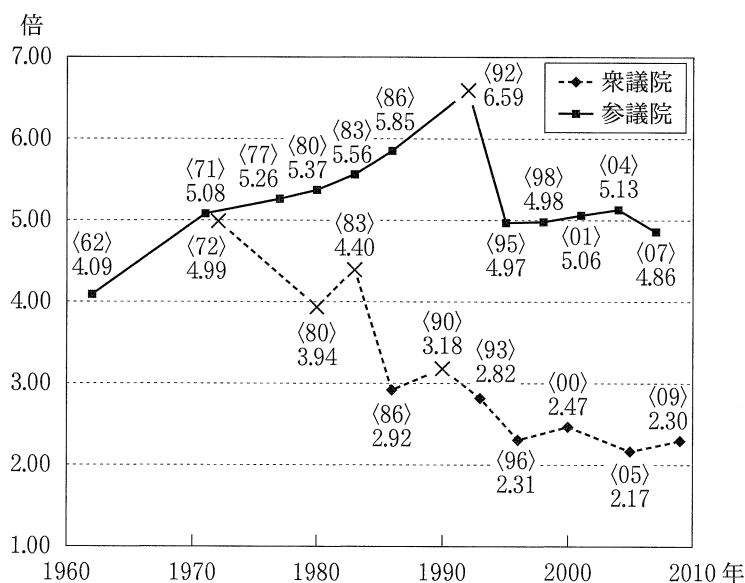
問 1 会話文中の 26 に入れる文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 国王は君臨すれども統治せず。
- ② 地方自治は民主主義の学校である。
- ③ 人民の人民による人民のための政治。
- ④ イギリス人が自由なのは議員を選挙する間だけだ。

倫理、政治・経済

問 2 下線部②について、次の図は過去の衆議院および参議院の選挙における一票の価値の格差(最大格差)とその合憲性に関する最高裁判所の主な判断を示したものである。図中の×印は、格差の程度が違憲の状態にあると判断されたことを表している。この図を参考にしながら、一票の価値の格差や、選挙制度の改正動向についての記述として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

27



(注) 図中の〈 〉内の数字は、選挙が行われた西暦年の下2けたを指す。2009年実施の衆議院議員選挙については、最高裁判所は、まず各都道府県に議員定数1を割り当て、残りを人口に比例して各都道府県に割り当てる方式は投票価値の平等の要求に反するとしたが、格差の程度の合憲性については明示的な判断をしていない。

- ① 一票の価値の格差は、参議院議員選挙よりも衆議院議員選挙において大きい傾向があるため、後者について、より多く違憲状態と判断されている。
- ② 最高裁判所は、参議院議員選挙について、衆議院議員選挙についてと同様に、3倍以上の格差が生じている場合を違憲状態と判断している。
- ③ 衆議院議員選挙において、小選挙区比例代表並立制が導入された後に実施された選挙では、導入以前よりも格差が是正された。
- ④ 最高裁判所が違憲状態と判断したため、参議院議員選挙では選挙区が都道府県単位から全国11ブロックに変更されたが、4倍以上の格差が残った。

問 3 下線部⑥について、日本の制度の記述として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。

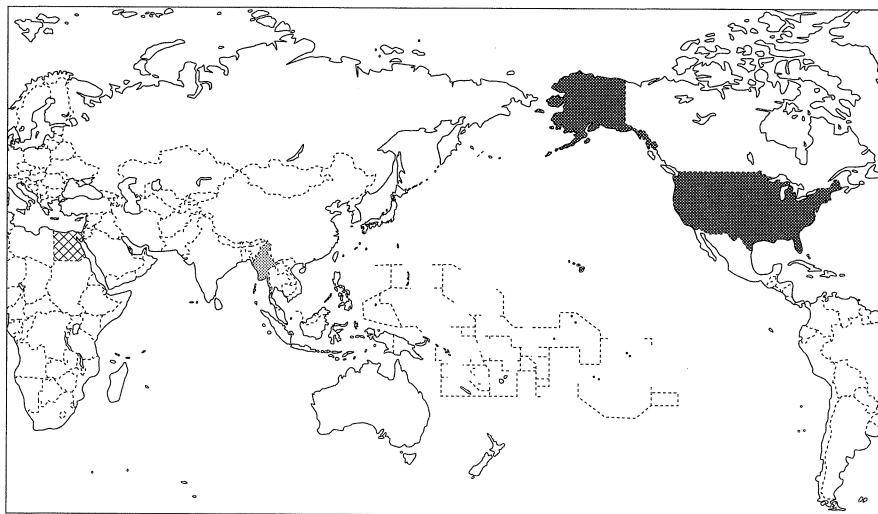
28

- ① 国民は、情報公開法に基づき、国の行政機関が保有する行政文書に記載された個人情報の開示・訂正を求めることができる。
- ② 行政文書の開示請求をした者は、開示請求に対する不開示などの決定に不服がある場合、その決定を裁判所で争うことができる。
- ③ 情報公開制度は、国による導入に先駆けて、まず地方自治体によって導入された。
- ④ 情報公開制度は、国民には政府などに対して情報の開示を求める「知る権利」があるとの主張を背景として、導入された。

倫理、政治・経済

- 問 4 下線部㉔に関連して、次の図は世界でデモが起きた国のいくつかを示したものである。図中の国A～Cと説明ア～ウとの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

29



A  B  C 

- ア 軍事政権の下、1988年に民主化を求めるデモが起き、多数の逮捕者が出た。その後、2010年に20年ぶりに行われた総選挙を経て選出された大統領により、これらの逮捕者の多くが釈放された。
- イ 2011年に、大統領退陣や経済改革などを求める大規模デモが起きた。その結果、30年にわたり政権を独占してきた大統領が辞任した。
- ウ 2011年に、金融の中心地で、経済格差の是正や雇用の確保を求めるデモが始まり、全国各地に拡大していった。

- ① A－ア B－イ C－ウ
② A－ア B－ウ C－イ
③ A－イ B－ア C－ウ
④ A－イ B－ウ C－ア
⑤ A－ウ B－ア C－イ
⑥ A－ウ B－イ C－ア

問 5 下線部㉑に関連して，日本における参政権の保障に関する記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 30

- ① 最高裁判所は，在外邦人(外国に居住する日本国民)による国政選挙権の行使を比例代表選挙に限定する公職選挙法の規定を，違憲と判断した。
- ② 日本国憲法は，憲法改正の条件として国民投票による過半数の賛成のみをあげており，国会による憲法改正の発議には条件を設けていない。
- ③ 男女共同参画社会基本法の施行に伴い，衆議院議員の議席は男女同数とされた。
- ④ 普通選挙を明文で保障する日本国憲法の施行に伴い，すべての成年者に選挙権を与える衆議院議員選挙が初めて実施された。

問 6 下線部㉒についての記述として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 31

- ① 国会は，憲法上「唯一の立法機関」であるが，条約は法律ではないので，国会には内閣が締結する条約の承認権はない。
- ② 国会は，憲法上「唯一の立法機関」であるが，内閣は，法律案を作成して国会に提出することができる。
- ③ 憲法上「衆議院の優越」が認められているものの，予算案は参議院に先に提出することができる。
- ④ 憲法上「衆議院の優越」が認められているので，参議院には内閣総理大臣の指名権はない。

倫理，政治・経済

問 7 下線部①に関連して，日本における個人の権利の保障をめぐる記述として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 32

- ① 新しい人権の一つとされる自己決定権は，公共的な課題について市民が集団として決定する権利であり，私的事柄を決定する権利を含まない。
- ② 労働基準法によると，使用者は，労働者の信条を理由として労働条件について差別的取扱いをしてはならない。
- ③ 教育基本法では，教育において個人の尊厳を重んじることについては，言及されていない。
- ④ プライバシーの権利は，公権力により私生活をみだりに公開されない権利であり，私人により私生活をみだりに公開されない権利を含まない。

(下書き用紙)

倫理，政治・経済の試験問題は次に続く。

倫理、政治・経済

第6問 次の文章を読み、下の問い(問1～7)に答えよ。(配点 18)

市場は、㉑ 売買という形式で人々をつなぎ、生活の利便性を高める。しかし、㉒ 市場取引は、欠陥商品による事故などを伴うこともある。そのため、それらを抑止し、円滑な経済活動を促進させるルールが必要となる。

たとえば、現在、㉓ 欠陥商品の被害者救済を主な目的として、多くの国でPL(製造物責任)法が制定されている。この法律には、企業に危険な商品を提供させないよう動機づけ、事故発生を抑止する役割もある。つまり、こうしたルールには、㉔ 経済主体や市場への作用を通して、事故を抑止し、その被害額を減少させるといふ、正の効果が期待される。

その反面、ルールが負の効果をもつこともある。PL法が、高額な訴訟や過剰な事故クレームの増加を懸念する企業の新商品開発への意欲を削ぎ、ひいては㉕ 経済の発展を阻害する可能性を指摘する声もある。実際、アメリカでは大規模な訴訟が頻発し、賠償金の支払いのために企業が倒産したり、賠償金の支払いに備える保険に加入できないために企業が廃業したり、といった社会問題が発生した。

このように、正と負の両面を踏まえると、市場取引を支えるルールの制定には、㉖ 経済学のみならず、多様な分野の視点をいかしながら、社会全体への影響を多角的、総合的に考える必要があることがわかる。私たちは、広い視野をもってルールのもたらす光と影とを認識し、㉗ 日本経済、さらには世界経済の発展を考えていかなければならない。

- 問 1 下線部⑤に用いられる貨幣は、価値尺度・交換手段・価値貯蔵手段・支払手段としての機能を果たす。これらの各機能に関する文のうち、価値尺度機能に関する事例として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

33

- ① 資産の一部を生鮮食料品で保持していたAさんは、腐敗による価値の目減りを恐れて、それを貨幣のかたちでもちたいと考えた。
- ② Bさんは、Cさんのサンマとの物々交換を望んだが、Cさんに断られたため、まず自分のバナナを売って貨幣を手に入れることにした。
- ③ Dさんは、後払いの約束でEさんからリンゴ10個を買い、後日、代金をEさんに渡して約束を果たした。
- ④ 綿布を製造しているFさんは、製造費用や市況などを考慮して、綿布1メートル当たり100円の価格をつけた。

- 問 2 下線部⑥に関連して、企業や市場についての記述として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

34

- ① 日本では、資金調達などの面で大企業と中小企業との間に格差があり、法律や制度などによって、中小企業の保護・育成が図られてきた。
- ② 完全競争市場では価格の自動調節機能に従い、財の需要量が供給量を、上回る場合は価格が下落し、下回る場合は価格が上昇する。
- ③ 寡占市場では、企業は、品質やデザイン、広告などの面で、他企業と競争を行うこともある。
- ④ 日本では、乗用車などで、生産額の上位3社の合計が、その市場の生産額合計の50パーセントを超えている市場がある。

倫理, 政治・経済

問 3 下線部㉔は、消費者保護政策の一環であり、この政策展開の出発点となったのは、アメリカのケネディ大統領が提唱した「消費者の四つの権利」である。この権利のうち一つは「知らされる権利」であり、次のA～Cは、その他の三つの権利の内容を説明したものである。下のア～ウは、これら三つの権利を保護、または侵害する例である。A～Cとア～ウとの組合せとして最も適切なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

35

- A 生命や健康にとって危険な製品の販売から保護される、という「安全を求める権利」
- B 政府の政策立案において、消費者の利益が十分に考慮され、行政手続においては、公正で迅速な行政上の対応が保障される、という「意見を聞いてもらう権利」
- C できる限り多様な製品やサービスを、競争価格で入手できるよう保障される、という「選択できる権利」

ア 欠陥車に関する自動車のリコール制度

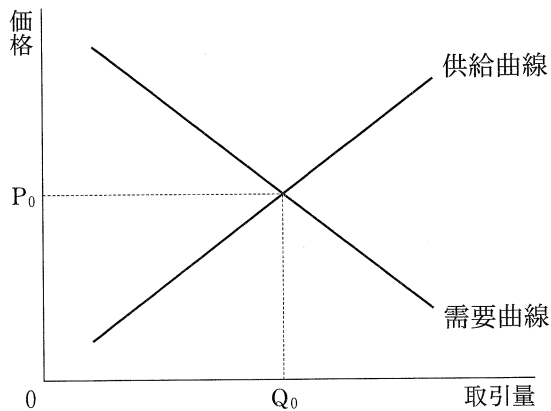
イ 食品健康影響評価に関するパブリック・コメント

ウ 同一産業内の企業によるカルテル

- ① A－ア B－イ C－ウ
- ② A－ア B－ウ C－イ
- ③ A－イ B－ア C－ウ
- ④ A－イ B－ウ C－ア
- ⑤ A－ウ B－ア C－イ
- ⑥ A－ウ B－イ C－ア

問 4 下線部㊤について, 市場で取引される財によって事故が発生したとき, 「企業(加害者)に過失が認められた場合, 企業に被害の賠償を義務づける」というルールが適用されている社会を考える。次の図は, このときの, ある財市場の需要曲線と供給曲線を示している。その後, 政府は, 「企業(加害者)の過失の有無にかかわらず, 企業に被害の賠償を義務づける」というルールに変更したとする。このとき, 需要曲線には影響を与えないという条件の下で, このルールの変更が, 図で示される市場に与える影響を述べた記述として最も適切なものを, 下の①～④のうちから一つ選べ。

36



- ① 企業は費用が増加すると考えるので, 供給曲線は右下にシフトし, 財の取引量は, 図中の Q_0 より多くなる。
- ② 企業は費用が減少すると考えるので, 供給曲線は左上にシフトし, 財の取引量は, 図中の Q_0 より少なくなる。
- ③ 企業は費用が増加すると考えるので, 供給曲線は左上にシフトし, 財の取引量は, 図中の Q_0 より少なくなる。
- ④ 企業は費用が減少すると考えるので, 供給曲線は右下にシフトし, 財の取引量は, 図中の Q_0 より多くなる。

倫理, 政治・経済

問 5 下線部㉔について, それぞれの時代における特徴を示す記述として最も適当なものを, 次の①～④のうちから一つ選べ。 37

- ① 17 世紀後半には, 国の経済力は国内に存在する貨幣量に規定されるという考え方にに基づき, 欧州に自由貿易が普及した。
- ② 18 世紀後半に, 重化学工業の分野で機械化を進展させたイギリスは, 「世界の工場」として工業製品の供給を行った。
- ③ 19 世紀後半になると, 欧州の列強は, 資源や市場を求めて植民地獲得に乗り出すという帝国主義政策をとった。
- ④ 20 世紀後半には, 先進諸国間で財政・金融政策の協調が深まり, 先進諸国ではインフレーションが生じなかった。

問 6 下線部㉕の理論や法則についての記述として最も適当なものを, 次の①～④のうちから一つ選べ。 38

- ① ペティ・クラークの法則によれば, 一国の経済は発展するにつれて, 第一次産業の比重を低下させる。
- ② リカードは, 発展段階の異なる国家間では, 自由貿易を行うべきではないということを明らかにした。
- ③ フリードマンは, 不況が有効需要不足から生じることを明らかにし, 政府による市場への積極的な介入の必要性を唱えた。
- ④ キチンの観察によれば, 企業が行う設備投資の動向に規定されて, 40 か月程度の周期で景気変動が生じる。

問 7 下線部⑧についての記述として**適当でないもの**を, 次の①～④のうちから一つ選べ。 39

- ① 第二次世界大戦後, 政府は, 経済復興のために, 限られた資材や資金を石炭・鉄鋼などの基幹産業に重点的に配分した。
- ② 高度経済成長期に, 金融機関は, 行政指導を受けずに自由な競争を繰り広げて, 企業に資金を提供した。
- ③ 現在, 中小企業は, 労働力人口の過半数を雇用し, 日本の企業数のおよそ99パーセントを占めている。
- ④ 現在, 総人口に占める65歳以上の人口の比率は, 20パーセントを超える状態にあり, 生産年齢人口の減少による経済成長の鈍化が予想される。